

2026年度『第27回サンライズ杯争奪少年野球大会』大会要項

- 1 主催 朝陽育成会少年野球 サンライズ杯争奪少年野球大会実行委員会
共催 朝陽地区住民自治協議会教育・文化部会育成会連絡協議会
大会長 西脇 かおる（長野市議会議員）
委員長 大月 亨（朝陽育成会少年野球 保護者会長）
副委員長 横川 清人（同 顧問）
実行委員 兼 大会事務局
小林 総一郎（同 監督）、田中 智大（同 コーチ）、小林 紀一（同 副会長）
事務局長 下田 宏幸（同 副会長）
- 2 協賛 タヤマススポーツ ダイワマルエス株式会社
NAGANO BEST PLAY スーパースポーツ XEBIO 長野南高田店
- 3 開催日 2026年7月18日（土）・19日（日）
(予備日) 7月20日（月）・25日（土）・26日（日）
- 4 会場 7月18日：犀川第二運動場 A, B, C, D, ソフトA面（E, ソフトB, C, D 練習用）
7月19日：若穂中央公園運動場
(予備日の会場は、別途、電子メールでご連絡します)
(2日目会場駐車場は公園利用者も使用する為乗り合わせ等ご協力ください)
- 5 参加チーム 16チーム
- 6 参加資格 4・5・6年生を中心としたチーム編成（最大20名）
ただし、3年生以下を含めてチーム編成することは妨げない。
- 7 参加費 1チーム 6,000円（大会当日受付）
- 8 日程 【1日目】 6：30 会場準備（グラウンド当番チーム）
7：00 受付
7：15 監督打合せ
8：00 試合開始 ※以降はトーナメント表を参照ください
【2日目】 8：00 試合開始 ※以降はトーナメント表を参照ください
- 9 開・閉会式
 - ① 本大会の開会式は執り行いませんので、大会本部（B面）へ受付にお越し下さい。
 - ② 決勝戦終了後閉会式を行います。優勝チーム、準優勝チーム、第3位のチーム、第4位のチームは、プラカードを持ってご参加下さい。
- 10 表彰
＜本戦＞ 優勝 賞状、優勝旗、カップ、メダル
準優勝 賞状、カップ、メダル
第3位 賞状、楯、メダル
第4位 賞状
最優秀選手賞（1名）・優秀選手賞（1名）・敢闘選手賞（1名）
ホームランボールを贈呈します（ランニングホームランを含む）
＜参加賞＞ スーパースポーツ XEBIO 長野南高田店 割引券 20枚
打順表（各チーム1冊）

11 大会運営に関する連絡事項

- ① 本大会では組合せ抽選は実施いたしません。
組合せは責任抽選により決定し、事務局より電子メールにてご連絡いたします。
- ② 雨天やグラウンド状況等により試合日程または開始時刻を変更する場合は、当日午前5時30分頃を目安に、事務局より電子メールにてご連絡いたします。
- ③ 駐車の際は、他の施設利用者のご迷惑とならないようご配慮をお願いいたします。
- ④ 大会期間中の事故や怪我等につきましては、各チームで加入されているスポーツ安全保険等にてご対応をお願いいたします。主催者は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ⑤ 大会運営に関して事故やトラブル等が発生した場合は、速やかに本部にご連絡下さい。
- ⑥ NAGANO BEST PLAY さんによるスピードガンコンテストを実施します。
時間や場所については、当日受付にてご説明いたします。なお、各学年1位の選手には、表彰があるため、閉会式にご参加下さい。

12 競技方法

(1) 競技規則に関する事項

本大会は、2026年公認野球規則および以下に定める本大会特別規則を適用する。

- ① 試合はトーナメント方式とする（別紙組合せ表参照）。
- ② 試合は6回戦または試合開始から1時間10分までとし、1時間を経過した場合は新しいイニングに入らない。ただし、決勝戦は1時間30分を経過した場合は新しいイニングに入らない。
- ③ 同点の場合は特別延長戦を行う。特別延長戦は無死一・二塁、継続打順とし、最大2イニングまで実施する。それでも勝敗が決しない場合は、9名による抽選により勝敗を決定する。なお、通常の延長戦と同様に規則で認められる選手交代は認めるが、抽選のみを目的とした交代は認めない。
- ④ 5回以降、7点差が生じた場合はコールドゲームを適用する。
ただし、決勝戦には適用しない。
- ⑤ 投手の投球回数は、1日7イニングまでとする（肩・肘の障害防止を目的とした措置）。
ただし、特別延長戦直前のイニングを完投した投手に限り、1日最大9イニングまで投球できる。投球回数は、1球でも投じたイニングを1イニングとして数える。投球回数はグラウンド当番が責任をもって管理し、次試合の対戦チームへ引き継ぐものとする。
- ⑥ 降雨等により試合続行が不可能となった場合は、3回終了をもって試合成立とする。試合続行の可否は、審判員が両チーム監督と協議のうえ決定する。3回終了前に試合続行が不可能となった場合の取扱いは、本部が決定する。
- ⑦ ホームランラインは70mとする。
本塁から70m地点を定め、投手板を基点としてラインを引く。
- ⑧ 投手板から本塁までの距離は16m、塁間は23mとする。なお、投手が4年生以下の場合は、14mからの投球を認める。
- ⑨ 監督は、ルールに関する疑義の申立てまたは選手への指示を行う場合に限り、グラウンド内に入ることができる。ただし、ファウルラインまでとする。
- ⑩ 試合中に雷鳴が確認された場合は、直ちに試合を中断する。
試合再開の可否は、審判員が両チーム監督と協議のうえ決定する。
- ⑪ 本大会において、打者が頭部への死球を受けた場合は、打者または監督の意思にかかわらず臨時代走を適用する。臨時代走者は、投手を除く選手のうち、直前に打撃を完了した選手とする。
- ⑫ 守備時間が長時間に及ぶ場合（概ね20分以上）、または審判員が必要と判断した場合は、選手の健康管理を考慮し給水タイムを設ける。その間の試合時間は計測しない。

(2) 競技運用に関する申し合わせ

- ① 各チームは、当日7時00分から7時30分までの間に大会本部にて受付を済ませ、大会参加費を納入すること。なお、天候や大会進行状況によっては試合開始時刻が早まる場合があるので留意すること。
- ② ベンチ入りできる者は、監督、選手および代表者2名（スコアラーを除く）までとする。
- ③ ベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
- ④ グラウンド整備は、試合終了後速やかに当該試合の両チームで行うこと。
- ⑤ 次試合の主将は、前試合の2回終了時にメンバー表3部（自チーム用、対戦チーム用、大会本部用）を持参のうえ、バックネット裏に集合すること。各グラウンド当番立会いのもと、先攻・後攻を決定する。
- ⑥ 第1試合のチームは試合開始30分前までに集合すること。前試合が予定より早く終了した場合は、次試合の両チーム監督との協議により、試合開始時刻を繰り上げる場合がある。
- ⑦ 審判の担当はトーナメント表による。球審・塁審の配置は、当日担当者間で協議のうえ決定する。ボールボーイ（大人可）は、試合を行う両チームで担当するものとする。なお、事情によりチームが棄権した場合であっても、割り当てられた審判は責任をもって務めること。
- ⑧ 大会2日目のグラウンド当番および球審は大会本部が担当する。
- ⑨ 決勝戦の審判は、すべて大会本部が担当する。
- ⑩ 審判員は、担当試合開始時刻の15分前までに各試合会場のバックネット裏へ集合すること。
- ⑪ 審判員の給水は各自で行うものとする（各チームからのお茶出しは行わない）。
- ⑫ ファウルボールは、打球方向のチームが回収すること。
- ⑬ グラウンド当番チームは、ベース、ライン引き、巻尺、投手板、トンボ、バケツおよび雑巾（ボール磨き用）を準備すること。ただし、試合球、石灰および得点用紙は大会本部で用意する。
- ⑭ ベンチおよび応援席からの選手または審判員に対する野次、誹謗中傷等は厳に慎むこと。
- ⑮ アップ専用グラウンドがない場合は、試合中であっても外野後方でのアップを認める。ただし、次試合のチームを優先するものとする。なお、ノックは認めるが、フリーバッティングは禁止とし、試合進行の妨げとならないよう十分配慮すること。
- ⑯ トーナメント表は大会本部に設置する。各試合会場には設置しないので留意すること。